



## 「雷博士が教える 雷から身を守る秘訣」

北川信一郎 著

本の泉社，2007年8月  
94頁，1000円（税込み価格）  
ISBN978-4-7807-0330-6

著者北川信一郎理学博士は，雷の研究で国際的に指導的役割を果たし，従来未解決であった『人体への落雷』問題の科学的解明を実現した。2003年には，国際雷・静電気学会はその業績を讃え，KITAGAWA メダルを制定し，その第1回の賞を著者に授与した。

従来，雷の研究は雷放電に関するもので，「人体への落雷」の問題は科学的研究の対象とはならなかった。

1971年，北川信一郎博士は，医・理・工学の3分野の研究グループを組織して，この問題に取り組んだ。異なる分野の研究者が，それぞれの専門知識を生かして総合的研究プロジェクトを進めるのは，今日では珍しくはないが，当時として画期的な取り組みで，著者の洞察力と熱意によって初めて実現した。

『人体への落雷の研究グループ』は，その研究成果を多数の論文で発表している。本書はその研究成果をまとめて記述したもので，その構成は以下のようになっている：

第1章 雷による人体の傷害と雷から身を守る方法

第2章 雷雲の気象学

第3章 人体への落雷の研究

第4章 人体への落雷の実相

序章と第1章では雷による傷害の実例が紹介され，雷から身を守る方法が3項目にまとめられる。第2章では降水や雷雲についての気象学的解説と雷の電気の発生機構がわかりやすく解説される。第3章では落雷事故の現地調査と模擬人体・動物実験の結果から得られた人体への落雷の特性が語られる。最後に第4章で代表的な落雷事故18例が紹介される。

日本大気電気学会は，誰にも容易に理解できるように，安全対策を平易に解説したパンフレット「雷から身を守るには—安全対策Q&A—」を出版している（1991年，2001年改訂版）。このパンフレットは，約50頁の小冊子で要点を記述しているが，科学的解説としては必ずしも十分とはいえない。本書は，このパンフレットで不足している部分を補足し，人体への落雷と安全対策を適切に解説している。

『落雷が近づいたら金属を捨てよ』とされているが，金属を捨てても安全にはならない。屋外にいると人体そのものが，落雷を誘引し，絶縁物着用は落雷防止には役立たない。学校関係者やスポーツ指導者は勿論，多くの人々が本書に目を通し，落雷による被害を最小限に止めることを期待したい。

(埼玉大学 高橋忠司)